

口唇口蓋裂に対する偏見をなくしたい

活動内容

医学部と歯学部合わせて42大学の教職員が活動に参加。国内では、口唇口蓋裂患者本人や家族の悩み相談の受付、講演会の開催、関連本の出版を行っている。また、海外では現地医師の育成や口唇口蓋裂の手術などを行っている。日本の子どもたちに医療の大切さを学んでもらい、将来、日本人としての自覚が生まれるよう、高校生を対象に海外の医療現場を見学する機会を設けるなど、教育活動にも力を入れている。

活動の背景、活動への思い

「医療者、患者、患者の家族がいくら頑張っても、口唇口蓋裂に対する偏見がなくなればいじめの問題はなくなる。その偏見を何とかしたい」との思いから団体を設立。一番程度の高い口唇口蓋裂児をもつ母親の約30%が自殺を考慮しており、4～5歳の口唇口蓋裂児の約25%が病気による悩みを抱えている。また、口唇口蓋裂児の60%がいじめを受けているという報告がある。

募集中!

飲み物を購入することで、手軽に募金・援助できる「募金機能付自動販売機」の設置を募っている。また、使わなくなった金・銀歯、アクセサリなどがあれば寄附として送って欲しいとのこと。これらは溶かしてパラジウム・金・銀・プラチナなどの材料に戻し売却され、得た純益は口唇口蓋裂に苦しむ人たちの援助活動に使われる。



概要

法人認証年月日 / 2002年6月14日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / 保健・医療・福祉、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒464-8651 名古屋市千種区末盛通2-11
愛知学院大学附属病院口唇口蓋裂センター内

TEL 052-757-4312 平日 10:00 ~ 16:00

FAX 052-757-4465

E-mail jcpf@jcpf.or.jp

URL <http://jcpf.agu.jp>

フィリピンの貧困をなくすために

活動内容

フィリピンにある『ヘルピングハンズアンドハーツ財団』への支援を通して、貧困をなくすための国際協力を行う。とくに、栄養不足改善を活動の柱としており、米にミネラルやビタミンなどを添加した栄養強化米の開発・製造を支援している。また、学校運営をはじめとする教育支援や、薬やメガネの無料支給といった医療支援にも積極的に関与。同時に、日本の人々に国際協力の必要性を発信するため、書籍の出版やイベント参加も積極的に行う。

活動の背景、活動への思い

3年前、代表の本田さんは、フィリピンの『ヘルピングハンズアンドハーツ財団』が栄養不足改善のために、栄養強化米の開発に取り組んでいることを知り、協力を申し出た。食品会社で栄養強化食品の開発に携わっていた本田さんには、同財団が求めるノウハウがあったからだ。栄養不足を改善し、フィリピンの貧困をなくしたい。その思いから『ヘルピングハンズアンドハーツジャパン』を設立。教育格差も貧困につながるため、就学率の向上にも力を注ぐ。

募集中!

多文化共生事業の一環で、ネイティブスピーカーによる英会話教室を開講中。料金は1レッスン800円で、全額が同団体への寄付金に充てられ、フィリピンの貧困層の子どもたちの教育資金に利用される。レッスンは毎日曜(13時~17時)、ウィルあいち(東区)にて。年齢・レベル不問。



概要

法人認証年月日 / 2010年7月14日
 主な活動分野 / 国際協力
 従たる活動分野 / 保健・医療・福祉、人権擁護・平和推進

→ 連絡先

〒455-0882 名古屋市港区小賀須4-1003-1-203

TEL 052-710-7479 10:00~18:00 月定休

FAX -

E-mail info@hhahj.jp.org

URL http://hhahj.jp.org/

清潔な水を供給し、世界の貧困撲滅を目指す

活動内容

1. 途上国に住む人々が貧困から脱出するための活動資金となる寄付の募集を行っている。寄付金は、衛生的な水を調達するための井戸建設や農業知識の普及活動など、途上国に住む人の自立支援のために活用される。
2. 日本に住んでいる人たちに世界の貧困問題や同団体の活動を知ってもらうために、スタディツアーや講演会を通じて国際理解教育を行っている。

活動の背景、活動への思い

『ホープ・インターナショナル開発機構』(以下、ホープ)は世界9ヶ国に拠点を持つ。日本のホープは、2000年のインド大地震が起こった際に「日本でも何かできることをしよう」と集まった人々により設立された。団体の目標は清潔な水を供給し、衛生教育を通して世界の貧困を撲滅すること。現地の人々が持続性のある農業を行ったり、マイクロファイナンスを利用することで、自立した生活ができるようになるまで導くことが支援方法である。

募集中!

ホープの支援は一回で完結しない。例えば、井戸を建設した後は、井戸の運営管理の方法を指導したり、農業支援を行っている。そのような継続的な活動のためには、継続的な支援が必要となる。ホープの活動に賛同する人は、ホープメンバー(賛助会員)となって、活動を継続的に支援してみたい。



概要

法人認証年月日 / 2004年10月15日
 主な活動分野 / 国際協力
 従たる活動分野 / -

→ 連絡先

〒460-0008 名古屋市中区栄1 16 2 神谷ビル3C

TEL 052-204-0530 平日 10:00 ~ 16:00

FAX 052-204-0531

E-mail info@hope.or.jp

URL http://www.hope.or.jp/

教育によってフィリピンの貧困をなくすことを目指す

活動内容

フィリピンで次の活動を行う。1.親がいないため、向学心があっても学校に通えない都会の子どもたちを対象に、奨学金を給付。2.学校が少なく、一家族に一人など少人数の子どもしか学校に通えない田舎に小学校を建設。3.重要な働き手である子どもが学校に通えるよう、パンやろうそくを製造する作業所をつくるなどして親の雇用を拡大し、家族の生活を支援。4. 栄養状態の特に悪い子どもに対し、状態が改善するまで食事を提供。

活動の背景、活動への思い

父の遺産を世の中のために役立てたいとの息子の思いを受け、創設者の母がフィリピンに奨学金基金を設立。その基金を援助するために『RASA-Japan』が設立された。教育環境の悪いフィリピンの田舎では、読み書きもできない人が多く、地元では仕事につけない。そのため就職口を求めて都会に出るが、都会でも仕事が得られず、多くの人が劣悪な環境のごみ山で生活している。教育環境を整えることによって貧困をなくすことを目指している。

募集中!

毎年夏に行うフィリピンでの海外ボランティアの参加者を募集。期間は約3週間で費用は約20万円。現地の作業員と協働で学校建設作業に携わる。期間中は現地の一般家庭でホームステイをする。フィリピンを理解するとともに、広い視野で世界の中の日本を見つめ直す機会になる。募集開始は4月中旬頃(2011年度は23名参加)。



概要

法人認証年月日 / 2009年9月24日

主な活動分野 / 国際協力

従たる活動分野 / 社会教育、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒468-0014 名古屋市天白区中平2-2627

TEL 052-803-1649 平日 9:00 ~ 12:00

FAX 052-803-1649

E-mail info@rasa-japan.com

URL http://rasa-japan.com/